

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>	競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	競技スポーツ課				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ラグビーワールドカップが開催される2019年を視野に、継続してラグビーの普及啓発を行える団体に事業を委託する。 1. 「タグラグビー」を活用して、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象にラグビーの普及・拡大を図る。 2. 平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。 3. 女性指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するため講習会等を開催する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	/	/	/	15	15	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	/	15	15	
	執行額	/	/	/	/	/	/	
	執行率(%)	/	/	/	/	/	/	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(31年度)
	タグラグビーの実施小学校数	成果実績	人	/	/	/	20,000	
		達成度	/	/	/	/		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	学外クラブ活動回数	活動実績(当初見込み)	回	/	/	/	—	
							( 150 )	
<b>単位当たりコスト</b>	学外クラブ活動1回当たりのコスト(97,813円/1回)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業予算要求額(円)14,672,000円/回数(150回)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	スポーツ振興事業委託費	15百万円	15百万円					
	計	15百万円	15百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、スポーツ基本計画の「オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、スポーツを通じた国際的な交流や貢献は、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するものであり、国際競技大会等の招致・開催を進めることで、こうした国際的な交流の機会を拡充していくことは、広く国民のニーズがある事業である。なお、2019年ラグビーワールドカップを円滑に開催するためには、関係省庁・地方公共団体・スポーツ界等の連携を図りながら事業を進めることが重要であることから、国が総合的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	2019年ラグビーワールドカップの円滑な開催に向け、関係省庁・地方公共団体・スポーツ界等の連携を図りながら、効果的・効率的に普及・啓発事業を実施するとともに、予算の適切な執行に努めるべきである。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
スポーツ基本計画について： <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a> スポーツ立国戦略について： <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
15百万円

2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催の成功に向けて、障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」や「学外クラブ」などを活用して、ラグビーの促進等普及啓発に係る事業を展開する。



【公募・委託】

A. 2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業: 15百万円  
民間団体

障害者を含む全国の小・中学生年代を対象に「タグラグビー」を活用したラグビーの普及・拡大、平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。また、女性の指導者や審判及び地域コミュニティにおけるリーダー等を養成するための講習会等を開催する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)

A.2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	実技指導謝金、メディカルサポート謝金	6			
消耗品費	タグラグビーセット、ラグビー用品	3			
旅費	講師旅費	2			
借料及び損料	拠点クラブ会場借料	2			
雑役務費	指導マニュアル映像撮影作成費	2			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)